



東和中学校の学力向上のための5つのポイント

① 「早寝、早起き、朝ごはん」といった生活のリズムを身につけさせる。

基本的な生活習慣が身についている生徒は、学力テストの正答率が高い傾向があるということが、全国学力・学習状況調査の結果から明らかになっています。

全校生徒に配布したポスター「宮前っ子 子育てプラン」にも正しい生活のリズムをつけることで自主的・計画的に勉強する子が育つと掲載しています。基本的な生活習慣は、家庭の協力と本人の自覚がなければ身につけません。今後も学力と生活習慣の関係について、様々な場面で啓発していきたいと考えています。

② 家庭での学習習慣を身につけさせる。

本校では、3年前より全学年で5教科の担当が作成した課題に生徒に取り組む活動をしています。提出された課題については、担当教員が点検・評価し、返すようにしています。提出率は、各教科で80%以上ありましたが、本年度は100%の提出率を目指していきます。

昨年12月に実施した「宿題アンケート」の結果を見ると、宿題は学力向上には効果はありますが、家庭学習の習慣化につながるとは言い切れないこともわかりました。そこで、週末には難易度の高い課題に取り組ませて、家庭でしかできない取り組みを進めていくこととしています。



③ 生徒指導の充実を図る（人権・同和教育、道徳教育の充実も含む）。

人権意識が高く、思いやりの心が厚く、自分や仲間を大切にでき、決まりを守れる生徒は、学力テストの正答率が高い傾向にあることが全国学力・学習状況調査の結果からも明らかです。

学校では、生徒の規範意識の醸成のため、いじめや暴力行為に関する対応の基準を明確にし、保護者や地域に理解と協力を得るよう努めています。さらに、生徒指導特設授業として県警から講師を招き、「防犯教室」や「キッズサポートスクール」の実施を計画しています。

また、人権・同和教育や道徳教育の充実のため、指導計画や年間教育計画を生徒の実態に応じて見直ししながら、教材や資料の工夫・改善に努め、人権・同和特設授業等を各学年の実態に応じて年間4～6回実施計画しているところです。特に、同和特設授業については、外部から講師を招いて実施するなど、生徒の発達段階や各教科の取り組みの内容を考慮し計画的に実施していきます。

④ 「朝の読書活動」等の充実を図る。

言語に関する能力をはぐくむためには、読書活動が効果的であることはいまでもありません。本校では、一日の学校生活を落ち着いた中で開始することと、言語活動をより充実させるために、学校全体として「朝の読書活動」に取り組んでいます。「朝の読書活動」の10分間を充実させるために、始業時間を10分早め、教員が生徒とともに黙って本を読むことなど学校全体として前向きに読書に

※「朝の読書活動」を学校みんなで充実させましょう！

取り組むことにより、読書が好きになった生徒の割合が大きく伸びてきています。

「朝の読書活動」の共通理解事項

朝の学活前 8時30分～8時40分 の10分間 読書タイムを設ける
全校一斉に実施し、教師も教室で一緒に無言で読む。

基本の4原則

- (1) みんなでやる
(生徒と教師全員が同じ時間に同じ条件で取り組む公平さが基本です)
- (2) 毎日やる
(1日10分という短い時間でも、毎日行うことで生徒の読む力を育みます)
- (3) 好きな本でよい
(読む本を自分自身で選びましょう。自分発見につながり主体性が育まれます。ただし、マンガ、雑誌、図鑑は除きます。教科書も避けましょう。)
- (4) ただ読むだけ
(感想文や記録は求めません。本を読んでいるときの楽しく充実した思いを大切にしてください。)



⑤ 学び合いの授業づくりの実践的研究を進めていく。

全ての学習の基盤となるのは言語活動であります。言語活動を充実させるために、各教科の授業の中で、積極的に言語活動を意識した指導を取り入れることが重要となります。授業の中にペア学習やグループ学習を取り入れ、生徒同士で聴き合える関係を作ります。

本年度も「きのくに学力フォローアップ事業」によるアドバイザーの支援により、校内研修を活性化させるとともに、本年度から、「学び合いの授業づくりの実践的研究」を進め、教授型授業から課題解決型授業への改善を図り、教員の実践的指導力の向上と生徒の学力向上を目指すため、研究推進校として次の具体的な取り組みを進めていくこととしています。



「授業づくり」においては、次の5つのポイントを確認し、実践していきたい。

「みんなでやる」確認事項

- ① いろんな教科で、書かせる活動を行いましょう。
- ② 授業の初めに、本時の授業の目標(めあて・ねらい)を生徒に明示しましょう。
- ③ 授業の終わりに、本時の学習内容を振り返らせましょう。
- ④ ペア学習やグループ学習の機会を増やしましょう。
- ⑤ 机間指導を行いましょう。



※「朝の読書活動」を学校みんなで充実させましょう！